

THE SERVICE CLUB OF YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS

The Y's Men's Club of Shimoda

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう。義務はすべての権利に伴う」



CHARTERED
June 10, 1980

会報 **9月号**
第**36**期
(**2015-16**年)

- 下田クラブ会長主題 『継 続 』
- 【国際会長主題】 『信念のあるミッション』
- 【アジア地域会長主題】 『愛をもって奉仕しよう』
- 【東日本区理事主題】 『原点に立って、未来へステップ』
- 【富士山部部長主題】 『みんなで参加・みんなで奉仕』

会 長	長田 俊児	会 計	奥居 邦保
副 会 長	池谷 淳	監 事	佐々木真澄
副 会 長	桜井 宏	監 事	土屋 誠
直前会長	糸賀 元房	例会日	毎月第三水曜日
書 記	清野 大樹	例会場	下田東急ホテル

強調月間
『ユース』 YIA, YEPP, STEP
(YIA=Youth Involvement and Activities, YEPP= Youth Educational Exchange Program, STEP= Short Team Exchange Program)

今月の聖句
明日のことを思い患(わずら)うな。
Do not be anxious about tomorrow.
マタイによる福音書第6章34節 (土屋恒夫 Y's 選)

第414回 9月 例会 プログラム
日時 2015年9月16日(水) 18:30~20:30

受付	清野 大樹 Y's
司会	臼井 啓太郎 Y's
	長田 俊児 会長
	土屋 恒夫 Y's
	一 同
	土屋 誠 Y's
	長田 俊児 会長
	書記&各委員会
	佐々木 真澄 Y's
	一 同
	親睦委員会
	親睦委員会
	プロ・ドラ&親睦委員会
	奥居 邦保 Y's
	長田 俊児 会長

- 開会点鐘
- 開会の言葉
- ワイズソング
- ワイズの信条
- 会長挨拶(ゲスト・ビジターご紹介)
- 書記&委員会報告
- 食前の感謝
- お月見会
- 誕生日&結婚記念日祝い
- スマイル
- 出席率&スマイル報告
- 閉会の言葉
- 閉会点鐘

在籍者	14名	ビジター	3名
内休会会員	4名	ゲスト	0名
出席者	8名	メネット	0名
出席率	80%	出席者総数	11名
7月修正出席率	91%	メイキャップ	1名
今月スマイル	12,000円	プルタブ累計	0kg
スマイル累計	47,500円	キャップ累計	0kg

第415回 10月 例会 予定
日時: 10月21日(水) 18:30~21:00
場所: 下田東急ホテル

プログラム担当予定者

受 付	臼井 啓太郎 Y's
司 会	土屋 恒夫 Y's
開 会 の 言 葉	奥居 邦保 Y's
ワ イ ズ の 信 条	池谷 淳 Y's
食 前 の 感 謝	土屋 誠 Y's
閉 会 の 言 葉	桜井 宏 Y's

9月 Happy Birthday
土屋 誠 Y's (5日)
土屋 恒夫 Y's (12日)
臼井 啓太郎 Y's (28日)

9月 Wedding Anniversary
該当者はおりません

2015年度 第4回 役員会・運営委員会 予定

役員会
・日時:10月6日(火) 19:00~19:30
・場所:こむらさき(予定)

運営委員会
・日時:10月6日(火) 19:30~21:00
・場所:役員会と同じ

今月の会報は、我々に多大な影響を与えてくれた故糸賀元房 Y's の特集をしました

悔恨の想い 糸賀元房君よ

櫻井 宏

8月例会の副題に「糸賀直前会長を偲ぶ会」とあった。偲ぶ、こんな言葉は全く似合わないし思いたくもない。“一寸今月は都合悪くて休み”とあの顔で笑っているように思っているのは私一人ではあるまい。

先日病院に行った時、6階の看護師看護婦に挨拶し帰りに5階を歩いてきた。ひょっこり彼がそこから顔を出すような気がしたからだ。そんな存在感、人間性を持っている男が私より先に逝ってしまうのか、ご尊

父鉄男氏は県会議員を辞められた後57歳でご逝去、葬儀のお手伝いもしたが、親子二代何故私より先なのか悔しい一言である。

30年にもなるか昔の話、行きつけのみせのカウンターで2人きりで飲んでいた時、あの男がポロポロでなくポロポロ涙を流して話した事があった。この話の続きはいつになるか今度逢ったときじっくり話すつもりだ。合掌。

糸賀元房君を偲んで

四之宮 武征

元房君は下田で生まれ育ち、下田市田牛生まれ育ちの代志美さんを娶り、父君が外浦で経営されていた旅館『臨海荘』の経営を引き継ぎ、仕事を愛し、家族を愛し、友人を愛し、そして下田ワイズメンズクラブを30年もの長きに渡り愛してこられました。

そのワイズでは、在籍中、第10代・第30代・第35代会長と三度も会長を務められ、ワイズのメイン行事『黒船祭・日米イカダ乗り競漕』に尽力され、ワイズ創立以来の『すぎのこ作業所』との協働事業“婆娑羅峠・桜の地草刈り”や“青少年座禅教室”でも作業への協力は勿論、いつも『臨海荘』特製のカレーライスを提供していただき、参加者からいつも期待されました。また、稲取・細野高原での“ファミリー山菜狩り”の折にも、お孫さんやご家族を引きつれ参加され、必ず参加者全員分の“特製味噌汁”を提供され、参加者に喜ばれていましたね。

私も、伊東クラブに“じゃが芋&カボチャ”を引き取りにご一緒にさせて頂いたり、元房君が会長当時、富士宮クラブ・三島クラブ・熱海クラブ等、富士山部内の他クラブ訪問にお供させて頂いたことや、(お別れには他クラブの皆さんも大勢馳せ参じてくれましたよ)大好きな“麻雀”や“ゴルフ”や畑作りをご一緒させて頂いたことも懐かしく楽しく思い出されます。

また、『下田市温泉旅館協同組合』では、長年役員を、近年では副理事長をも務められ、下田市の発展に尽力されましたことや、この度11年を迎えた下田市観光協

会主催の『風の花祭り』でも事業の発展に尽力されてこられ、お仲間の皆さんの信頼を頂いておられました。

ご家庭では、奥様の代志美さんとの二人三脚は勿論、ご長男の永陽君は貴方の後を継がれ、ご次男の大樹君は音楽の道に進まれ活躍中、ご長女の弓江さんは小学校の先生になられ、皆様それぞれに良きご伴侶を得られ、それぞれに素晴らしいお子様を授けられましたことは、元房君が何よりもご安心なされ、ご自慢になさっておられました。

元房君との30年以上になろうかと思えますお付き合いのなかで、友のことも自分の事の様に心配され、私も、どれほどお世話をお掛けしたか分かりませんが、そのたびに嫌な顔もせずに親身になって心配して下さいました。有難う御座いました。

これから益々下田の為に活躍されますことを期待しておりました矢先のご不幸で、本当に残念に思いますのは私だけではないと思います。(何よりもご本人が一番悔しく思っておられることとお察し申し上げます)

糸賀君、お世話になりましたご恩返しは何も出来ないままですが、糸賀君が与えてくださいました数々のご好意は、私だけでなく、ご家族も、ワイズも、多くの友も、更には下田市の皆さんにも決して忘れることは無いでしょう。

どうぞ安らかにお眠り下さい。 さようなら。

平成27年9月11日

「糸賀」との思い出

佐々木 眞澄

用事を頼むと二つ返事で「はいよ」と答える、それが糸賀君。しかし用事の半分以上は「忘れた」との返事、それでも憎めない人徳と言うか、皆諦めているのか。人に嫌味を言われて悔しくないのかと糸賀に聞いたことがある。腹が立つ時もあるが、気にしない様になっているとの事、ほんとうにいい性格であった。

糸賀とは日本区大会によく出かけて行った。そこでゴルフ大会にも参加したもんだ。北海道の帯広に行った時もゴルフ大会に参加した。朝からホテルでビールを飲み、ゴルフ場に到着すると又ビール。ゴルフカートにビールを積み込み、飲みながらのゴルフ。一日中ゴルフ場でビール漬け。翌日土屋誠さんを交えて3人で300キ。以上離れた富良野のラベンダーを見にレンタ

カーで行く約束だった。もちろん3人交代で運転するはずだった。ホテルのフロントで待ち合わせしていると、もうアルコールが入っている状態の彼。運転などとても出来る状態でない。怒るに怒れない、笑うしかない。それが何事もなく通ってしまうのが糸賀だ。

私のメネットが体調を崩しているとき、食事を作って何回も持ってきてくれた、そんな優しさと気配りのある人情のある男だった。

人の迷惑も考えず人間は皆糸賀のように天真爛漫に生きて楽しく酒を飲み、家族と仲良く生きたいものである。自分ももっと酒に強かったら人生が変わっていたらと思う。糸賀は、今回もまたアルコールが入っているだろうか！

糸賀元房会長を偲ぶ

池谷 淳

豪放磊落とは彼の性格を指す言葉としか思いつかない。お父さんも豪快な方で、一緒に商売をしたり静岡まで一緒に車の免許を取りに通ったり、忘れえぬ思い出がたくさん残っている。

父君と弥吾平旅館の社長と三人で静岡市の三好野旅館に逗留して車の免許を取りに行った。静岡の江崎書店の江崎千萬人社長が当時公安委員長としていて、豆陽中学校の同級生の関係で、立ち会ってもらったが、サイドブレーキを引いたまま黒煙を上げて発進し失敗した。これでは助からない。当時は毎日試験日なので、三回目にやっと合格した。

暫く冷凍食品の卸売の共同事業をしていた。静岡の静岡県水産から仕入れ、私が配送した。マルイ飲食店を始めて止めたことも思い出す。

当時は元房君は学生で良く知らなかったが、ワイズを創り、市長選に立候補する頃、彼が属していた旅館組合の青年部に大変応援してもらった。選挙車を走らせるとき同行して応援を度々受けた。その時父親そっくりの豪放磊落、活気のある明るい彼に励まされ選挙戦を戦い勝った。

それから彼らはワイズメンの仲間に入り、私は市長職に忙しいので16年間休会となる。しかしワイズの恒例の日米筏下り競争は常に率先して頑張ってくれた。

私は黒船祭りの予算から100万円を割り付け、黒船

祭りのイベントの一つとして育ててもらった。それはまた、富士山部の事業にも育てていった。中学生の参加もあり、故郷の川の思い出を子供たちの心に残してくれた。ワイズメンの青少年育成運動の一環として大変に貢献できたメンバーは自負している。メンバーの高齢化により竹の伐採に手を焼き、企画した者の責任で、再度の会長の時廃止した。富士山部の共通のイベントとして珍重されていたが、思い切って取りやめた。止めて15年も経つが壮観だった風情は未だに思い出す。良い思い出として語り合う。

彼が肺癌に病み、手術が成功したと喜んでいたら、ところが二ヶ月ほどたって再入院と聞き、しかも緩和医療の病棟に入り、驚いてお見舞いに行くと、何時もの大きな声で元気そのものの闘病の日々であった。まさかと思った、8月の初めに彼は旅立った。一陣の風のように爽やかな一生であった。

無欲で恬淡たる彼の明るい人生は我々に爽やかな生き様を残して行ってくれた。君の造ったワイズの仲間との交流が楽しく明るく爽やかに送れるように努力して、クラブを守っていきます。長い間ありがとうございます。我々がサポートできるものは頑張ります。奥さんや永陽君をサポートしていきます。安らかに天国から眺めていて下さい。

さようなら、さようなら、さようなら。

糸賀さん、ありがとう。

土屋 恒夫

糸賀元房さんへ。

“生者必滅は世の習い”と言いますが、私達の懸命の祈りも空しくあなたは遠い所へと旅立ってしまいました。誠に痛恨の極みです。

明るく太陽の如き存在で、人を愛し、人に愛された糸賀さん。いつも優しい笑顔で接してくれた在りし日の姿が偲ばれます。あなたは良き家庭人でもありました。可愛いお孫さんを6人も得て、幸せの絶頂にあったのでした。突然の病発覚後も臆することなく、ひたすら快復を信じて最期まで立派に生き抜きました。支え合う暖かい家族が力を与えてくれたのでした。常に己のことよりも他を優先させ、中途半端が嫌いだった糸賀さん。志半ばにしての非業の死はさぞ無念であつたらうとお察し致します。心からお悔み申し上げます。

あなたとのお付き合いはわずか8年間でしたが、一緒にワイズ活動に参加する中で次第に緊密になりました。奥さんの代志美さんと私の妻が南高で同じクラスというのにも縁を感じます。あなたに贈りたい言葉があります。それは『糸賀さん、ありがとうございました！』の一言です。

第1回目の会長を務めた折、ワイズ経験の浅い私は迷いの海を彷徨していたことがありました。ワイズのことを熟知していて、かつ話しやすかったあなたに私は真っ先に相談しました。あなたは常に親身

になって応えてくれました。おかげで連続会長となった2年目は随分余裕を持って臨むことが出来ました。さらに鮮明に記憶していることがあります。私の次の後継会長がなかなか決まらず絶望的になった際、電光石火会長に名乗り出てくれたのがあなたでした。あの時の安堵感と感謝の気持ちは一生忘れません。

つい最近奥さんから聞いたことですが、「恒夫先生にもワイズの楽しさを十分味わってもらいたい。」ともらしたことがあったそうですね。OK Don't worry. 私は既に糸賀さんと同じくらいY's Lifeを楽しんでいますよ！

最後に私からの約束です。『糸賀さん、ワイズは必ず“継続”して行きます。』現会長の長田さんの会長主題もあなたが掲げた“継続”を踏襲しております。7月25日には第8回青少年座禅教室を皆でしっかり「継続」させたことを御報告致します。

“年をとることは別離の悲しみに耐えることである。”と述べた人がいます。悲しみに沈んでばかりいては明朗快活だったあなたが嘆くでしょう。あなたが示してくれたワイズspirit《愛と奉仕と献身》を胸に私達も更に協力し合い一步一步前進して参ります。どうか天国から下田クラブを見守っていて下さい。

では、May you rest in peace! (安らかにお休みください)

2015年9月10日記

9月 理事・運営委員会及びバーベキュー懇親会

土屋恒夫

日時:2015年9月3日(木)18:30~20:30
 場所:NPO 法人熱海YMCA センター
 司会:鈴木道夫理事 理事長挨拶:代理藤間理事
 各担当理事、運営委員報告、夏期事業報告
 ・下田クラブ/第8回座禅教室:子供19名、成人21名
 計40名参加。・沼津クラブ/沼津ビーチフェスに参加。
 10月世田谷クラブと共同で被災地石巻を慰問の予
 定。・三島クラブ/街中だがしや楽校:小学生子供200
 名を招く、メンバー10名が支援。・伊東クラブ/青少年
 キャンプ:8月8,9日桜の里キャンプ場に生徒178名が
 参加し大成功。・熱海クラブ/青少年キャンプ:8月8,9
 日エコヴィレッジに於いて17名とメンバー8名が参
 加。・御殿場クラブ/東山荘の夏祭り:台湾の学生と共

に参加。東京クラブのウェルネス研修会:8月22,23日
 にメンバー5名参加。・F ニュース用に各事業の写真、
 原稿の提供依頼。・ユースボランティアフォーラムは、9
 月11日~13日山中湖センターで開催される。

議題

◇第30回中学生英語スピーチコンテストの準備

2015年11月21日(土)開催。参加生募集要項を配
 布、中学校へ訪問し参加をPR。審査員ALT講師(熱
 海高校、三島南高を予定)を申請。

第2部 バーベキュー懇親会

25人出席。小雨の中、青木 Y's ご夫妻が準備したバ
 ーベキューに舌づつみ、各会長を交えて懇親を深め、
 東山荘新所長堀口 Y's の閉会挨拶で終了。以上

8月例会報告

例会の前に、故糸賀元房直前会長のご冥福を祈って全
 員で1分間の黙とうを捧げました。

いつも例会場として使っているホテルの都合で、今回は
 下田市民文化会館の小会議室が第1部の通常例会の会
 場となり、18時から約40分間開催しました。

長田会長の開会点
 鐘に続き、臼井 Y's が
 開会の言葉を述べ、
 アカペラでワイズソ
 ングを合唱し、佐々木
 Y's が力強くワイズ



の信条を読み上げました。会長が挨拶し、今回の会場の事と
 糸賀さんについておよび1,2部について説明しました。ビ
 ジター紹介では出席された伊東クラブの飯島唯志次期会
 長、牛田俊夫プログラム・ドライバー委員長、堀口正作
 BF・IBC 委員長の3名が紹介された。牛田 Y's は富士山
 部書記として部会内容を説明され、飯島 Y's は伊東クラブ

の40周年記念のスケジュール、催しものについて説明さ
 れた。誕生日・結婚記念日祝いはこちらも出席者の中に
 いませんでした。書記及び各委員会報告は、座禅教室の
 成果と課題、その時使ったかき氷機は糸賀さんが提供し
 たものであるの大切に使っていきたいこと、次の9月お
 月見例会について説明がありました。閉会の言葉を土屋
 恒夫 Y's が述べて第1部は終了した。

第2部は場所を変えて7時から9時までさかなや道場で
 「糸賀元房 Y's を偲ぶ会」を開催した。

土屋誠 Y's の司会で始まり、長田会長が挨拶と献杯した。
 糸賀さんの思い出や人柄やエピソードを語り合い故人を
 偲んだ。スマイルと
 出席率が報告され、
 佐々木 Y's と長田
 会長の言葉で第2
 部を終了した。



他クラブ訪問

9/3 熱海 YMCA 理事・運営委員会&バーベキュー懇親
 会(熱海 YMCA):土屋恒夫 Y's (記事参照)

9/14 伊東クラブ例会: 臼井啓太郎 Y's, 清野大樹 Y's

富士山部クラブ行事予定

- ・富士山部第37回 部会 2015年9月27日(日)
- ・伊東クラブ 40周年記念例会 2015年11月22日(日)

DBC 情報

・札幌北クラブ

会員数は少ないが、YMCA との繋がりを重視し活発に
 活動しております。9月の会報で糸賀元房さんの訃報を
 報じていただきました。会長主題は「感謝して奉仕をし
 よう」です。

・四日市クラブ

会員数が減ったようです。在籍15名、算定分母14名、
 会長主題は「意志あるところに道はある」です。8月号の
 会報で DBC の本クラブとの交流について掲載されてい
 ました。HP は <http://www.ys-yokkaichi.sakura.ne.jp/>